



令和4年8月3日(水)
令和4年度保健師中央会議
資料12

ポストコロナに向けた保健師活動を考える ～全国保健師長会からのメッセージ～

令和4年8月3日(水)
保健師中央会議

全国保健師長会 副会長
河西 あかね




昭和54年3月

地域の公衆衛生分野の専門職として、
地域住民の健康保持増進に寄与する
保健業務の指導的立場にある者が、
一丸となって目的を達成するため、
24県5市の代表が設立総会を開催し
「全国保健婦長会」が誕生しました。



あらゆる世代や健康レベルの人々が、安心して健やかに暮らせるまちづくりをめざし、保健医療福祉や、産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化し、PDCAサイクルに基づいた主体的な公衆衛生看護活動を展開することが私たちの使命です。



甚大な被害を与えた未曾有の大震災

1995年 1月17日 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）


2004年10月14日 新潟県中越地震

2007年 7月16日 新潟県中越沖地震

2011年 3月11日 東日本大震災

2016年 4月14日 熊本地震



A photograph showing a person wearing a white hard hat and a dark jacket with a white reflective strip on the back, walking away from the camera through a large field of debris. In the background, there is a two-story house with a grey roof and a blue tarp covering a window. The ground is covered in dirt, wood, and other wreckage. The sky is overcast.

どのような状況でも、
全国の保健師がつながり力を合わせ
住民の命を、暮らしを、守り抜く

全国保健師長会の活動紹介動画（2021年）より

<写真提供：札幌市保健所>

震災に立ち向かった
全国の保健師の経験と想いを
伝えていくことも
全国保健師長会の大切な使命です。

福岡市

全国保健師長会の活動紹介動画（2021年）より

<写真提供：石巻市>

A microscopic view of several blue coronavirus particles against a dark background. The particles are spherical with numerous small, protruding spikes on their surface. The text is overlaid on the image in white.

2021年1月、日本中の日常生活が一変した

新型コロナウイルス、日本初の感染者発生



持ち込まない、持ち出さない、持ち運ばないをモットーに

＜写真提供：東京都多摩府中保健所＞

全国保健師長会の活動紹介動画（2021年）より



延々と続く疫学調査や電話相談

<写真提供：東京都南多摩保健所>



<写真提供：福岡県>

全国保健師長会の活動紹介動画（2021年）より



<写真提供：福岡県>

慣れない防護服での検体採取



<写真提供：東京都南多摩保健所>

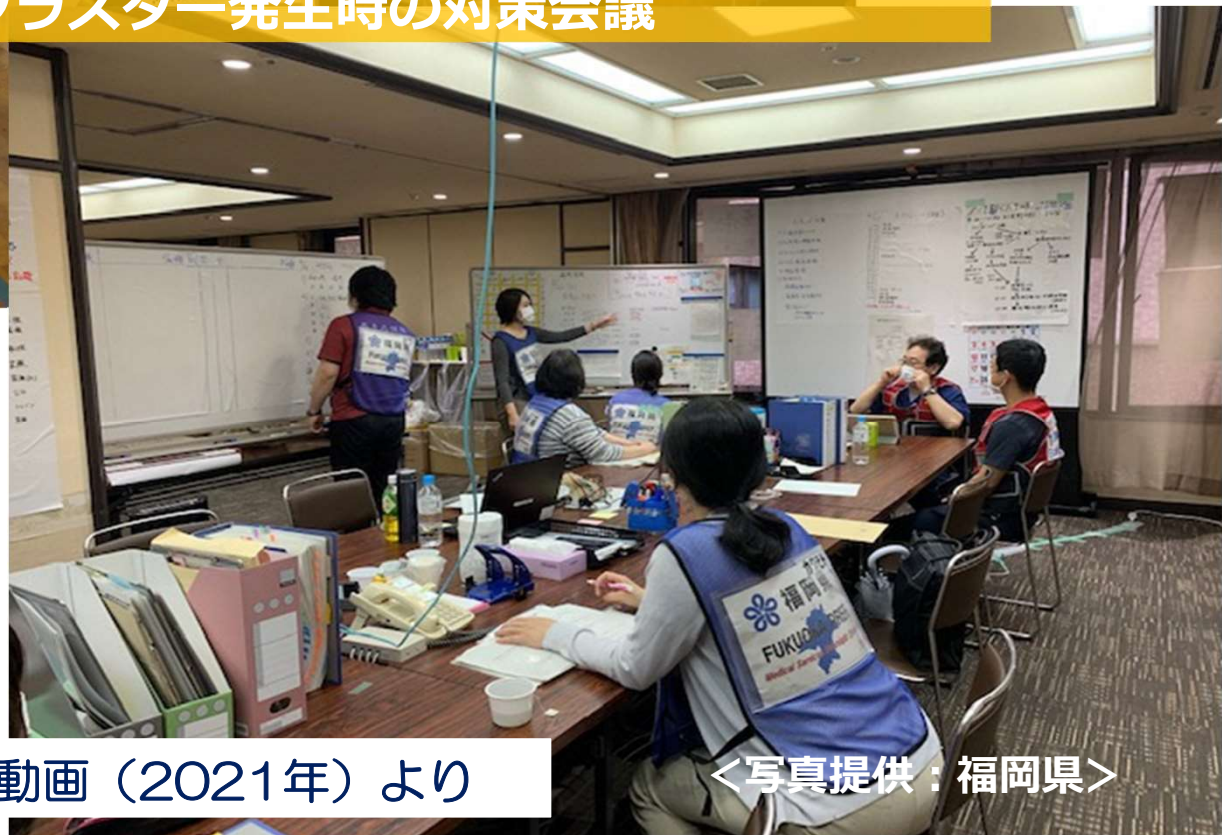


<写真提供：東京都南多摩保健所>



クラスター発生時の対策会議

<写真提供：東京都南多摩保健所>



全国保健師長会の活動紹介動画（2021年）より

<写真提供：福岡県>

全国の役員との、オンラインを利用した理事会の様子



コロナ禍でも
オンラインで全国の保健師と
つながり続けてきました。



全国保健師長会では、
いきいきと活力ある保健師を目指し、
効果的かつ質の高い活動が展開できる
よう、各ブロックの研修や研究的な取
組の推進を図り、次世代を担う保健師
の成長を支援しながら、全国の保健師
のつながりを強化していきます。



令和4年度 全国保健師長会 活動方針

未来を創造する公衆衛生看護活動の展開

～保健師の原点から住民とともに創る未来～

- 1 健康危機管理対策における保健師機能発揮にむけた取組の促進
- 2 専門性の高い公衆衛生看護活動の推進
- 3 ブロック、支部活動のより効果的な推進
- 4 地域の保健師活動の推進に向けた会からの情報発信の促進



令和4年度 全国保健師長会 最重点活動目標

1 保健師活動の可視化及び質の向上

- 地域における保健師活動の充実強化を図るため、活動の可視化に努めます。
- 都道府県部会・政令指定都市等部会・市町村部会各々の活動の充実を図ります。
- ブロック研修会の充実を図ります。

2 情報発信の強化

- 各自治体における取り組みの課題や先進事例の情報発信に努めます。

3 感染症対策の推進

- 保健師増員の実態について調査します。

4 災害時保健活動の推進

- 「災害時の保健活動推進マニュアル」に基づく活動の理解促進に努めます。

5 市町村の会員拡大

- 未加入自治体の加入促進を図ります。



「全国保健師長会」では、 このような活動をしています！

国家要望書の提出（毎年5～6月）

<http://www.nacphn.jp/02/youbou/>



佐原康之健康局長へ要望書を手渡す松本会長

要望から実現したこと<例>

重点要望 「市町村における統括的な役割を担う保健師の育成と配置」

従前から、統括保健師は保健衛生部門に配置するよう示されていたことから、他部門に配置された場合は該当せず「未設置」と扱われていました。

当会から、市町村が保健衛生部門以外であっても統括保健師の役割を担うと判断した場合はその配置を認めていただきたいと厚生労働省健康局健康課あて令和3年5月に要望をしました。

結果、令和3年度の「統括的な役割を担う保健師の配置自治体の割合」から、統括保健師の所属区分を限定しない調査となり、**現状に即した配置状況の把握及び未配置の自治体の明確化**につながりました。



検討会、調査等への参画・協力

厚労省 検討会・ ワーキング等への参画

(社会援護局、医政局、健康局、保険局、
こども家庭局)

「地方衛生研究所のあり方に関する調査等
保健師の人材育成に関するワーキンググル
ープ」

「特定健診保健指導ワーキンググループ」

「母子健康手帳、母子保健情報等に関する
検討会」 等

関係団体への協力

(日本公衆衛生協会、日本公衆衛生看護学
会、日本公衆衛生学会、日本看護協会等)

厚労省科学研究への協力

「保健所における感染症対応職員の役割
機能強化のためのガイドライン及び研修
プログラムの開発」

「自治体における災害時保健活動マニ
ユアルの策定及び活動推進のための研究」
等

地域保健総合推進事業への協力

「自治体保健師の人材確保支援策の検討」

「災害時における自治体保健師間連携の検
討」 等

主に運営委員、各部会、各特別委員会のメンバーから委員を選出し、自治体保健師の保健活動の実態や意見が反映されるよう参画・協力しています。 17



令和2年度 全国保健師長会調査研究事業

全国保健師長会(独自)調査研究事業

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
新型コロナウイルス感染症における保健師活動	山田 祐子 氏	福島県南相馬市健康福祉部

地域保健総合推進事業（受託事業）

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
自治体保健師の活動内容の実態把握に向けた調査 ～保健師活動領域調査（活動調査）の活動項目に関する調査事業～	清田 啓子 氏	北九州市子ども家庭局



令和3年度 全国保健師長会調査研究事業

全国保健師長会(独自)調査研究事業

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
新型コロナウイルス感染症に関連して増員された保健所保健師等の業務について	來山 典子 氏	政令指定都市・中核市・特別区部会

地域保健総合推進事業（受託事業）

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
地方自治体の保健師活動におけるICTの活用に関する調査事業	吉田 知可 氏	調査研究委員会 担当常任理事

全国保健師長会HP <http://www.nacphn.jp/03/#a2022>



令和4年度 全国保健師長会調査研究事業

全国保健師長会(独自)調査研究事業

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
新型コロナウイルス感染症対応の記録～保健師の活動と視点～	西本 美和 氏	副会長

地域保健総合推進事業（受託事業）

テーマ名	研究代表者	代表者所属名
自治体における新規採用保健師の人材育成にかかる実態および体系的な研修体制の構築にかかる調査研究事業	小川 靖子 氏	市町村部会

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応の記録 ～保健師の活動と視点～

《 調査研究事業の活動スケジュール 》

7月

ワールド
・カフェ

「こんな思いで活動してきた。」「このことは、語り継いでいきたい。」
「みんなと思いを共有したい。」
ここで語られた内容を保健師向け調査に活用します。

9月

自治体
向け
調査

第1～6波それぞれの時期に課題であったことや、どのように対応したかを把握し、新たな新興感染症が発生した際の参考になるような調査を予定しています。

10月

保健師
向け
調査

色々な立場でコロナ対応（ワクチン接種含）してきた保健師の活動や視点、大切にしてきたこと、語り継いでいきたいことなどを調査し、記録に残したいと思っています。

令和4年7月2日オンライン開催しました！

【参 考】

ワールド・カフェ開催の目的

- ・「保健師がコロナ対応をどのような思いで取り組んできたか」
 - ・「これからのことを考え、語り継いでいきたいこと」
 - ・辛かったこと、泣きたかったこと、腹が立ったこと、嬉しかったこと・・・
- コロナ対応で色々な思いをしながら頑張ってきたことを保健師同士で話したいと思い企画しました。

保健師同士で語り合う ワールドカフェ 「コロナと保健師活動」

令和4年度

全国保健師長会調査研究事業



R4年度 自治体における新規採用保健師の人材育成にかかる実態 および体系的な研修体制の構築にかかる調査研究事業の目的

体系的な研修体制構築の推進

①組織全体で取り組む人材育成 ②キャリアパスを活用した体系的な人材育成構築の推進 ③個別性に着目した人材育成の推進

しかし、現状は + 感染症対応業務に従事する保健師の恒常的な人員体制の強化による保健師増

新規採用保健師

- 人材確保が困難
- 保健師免許取得までの教育背景、自治体保健師として就職するまでの職務経験が多様化＝保健師能力が経験年数に応じて一様でない
- 保健師活動の面白さを感じるまでに辞める

保健師が育つ土壌の変化

- 保健分野の脆弱化
- 分散配置が進み、今の現場では経験して学ぶことが難しい

小規模自治体の課題

- 保健師数が少ない・長期間採用がないため指導者層がない・人材育成より業務優先
- 分散配置で各部署で指導体制確保が困難

人材育成体制

- 統括保健師の配置が進んでいない
 - キャリアラダーの活用、人材育成計画の作成が進んでいない
- 【不明な点】
- 統括保健師の人材育成への意識
 - OJT、Off-JTの実際
 - 戦略的なジョブローテーション
 - 都道府県の市町村支援
 - 教育機関との連携 等

人事部門との連携

- 連携が進んでいない（特に市町村）
- 保健師活動の目指すところが理解されていない

現状が
あぶりだせる
調査の実施

新任保健師教育の再考

- 自治体の共通点、自治体規模の違いによる課題はあるのか
- 自治体格差を縮小するためのポイントは何か

体系的な人材育成体制構築の
あり方検討とポイント提示

多様な背景を持った人材が、どのような規模の自治体に入職しても、保健師として育つ環境づくり、仕組みづくりを目指す

令和4年度の
全国保健師長会調査研究事業への
ご協力をよろしく申し上げます！

次世代へ残したい
コロナ対応でも大切にしてきた保健師活動の視点、
自治体規模による格差の無い、保健師の育ちの
土壌をどのようにつくっていくのか、継続させていくのか
私たち自身が問われています。

全国保健師長会は、いつの時代も
地域の公衆衛生分野の専門職のリーダーを束ね
保健・医療・福祉をつなぎ、
安心して健やかに暮らせる
まちづくりの実現に向けて
社会の課題に向き合い
公衆衛生看護活動を展開していきます。

コロナ禍においても
保健師同士のつながりを大切に、
一緒に活動を進めましょう！



最新の情報はこちら！

新着情報

- 2022.05.19 お知らせ - [2022年度第一回親子ヘルサボ講演「児童虐待予防に携わる保健師に期待するもの」](#)を掲載しました。
- 2022.05.18 理事会 - [全国保健師長会ニュース「令和4年度 第1回理事会報告」](#)を掲載しました。
- 2022.05.18 概要 - [2022年度（R4）会長あいさつ](#)を掲載しました。
- 2022.05.10 調査研究事業 - [地域保健総合推進事業報告書](#)を掲載しました。

研修会・講演会などのお知らせ

[2022年度第一回親子ヘルサボ講演「児童虐待予防に携わる保健師に期待するもの」](#)
【開催】2022.06.25（土）15:00～17:00・オンライン

サイト内検索

[サイトマップ](#) / [著作物について](#)

トピックス

- [令和4年度調査研究事業（独自事業）募集 <終了>](#)